潜在を顕在化する
奇跡のツール 「StiLL」

第3回
「StiLL事例研究フォーラム」
2009/6/8

株式会社アイエルアイ総合研究所

■□ 「事例研究フォーラム」プログラム □■

■ はじめに
ごあいさつ　　13:30～

第一部　【事例紹介】　　P 2～8

■システム事例紹介Ⅰ
--- システム名： 基幹連携情報系システム
「原価明細システム」「設計用役システム」他---

①「原価明細システム」・「設計用役システム」概要紹介
②作成プロセスとその評価について

～休憩（15分）～

■システム事例紹介Ⅱ　　P10～17
--- システム名： 「セミナー・イベント推進管理システム」

①システム概要紹介
②作成プロセスとその効果について

～休憩（15分）～

第二部　【 「StiLL-Ⅹ」& Xcelsius ダッシュボード開発手順のご紹介】　　（別紙）

■ 1000件Mailテンプレート　操作方法 説明　　P18～19

■ Q&A

■ おわりに

～フォーラム終了～　　～17:00

◆ システム事例紹介Ⅰ◆

2009/6/8

システム名　アプリケーション管理システム

会社名　　造船関係企業（株）
規模　　社員数 約１１００名
所在地　　千葉県

■システム概要-1

＜導入背景と狙い＞

当社は造船を中心にした企業です。
本千葉事業所は、基幹システムを除いた各セクションの業務用システムの開発には、VISUAL－STUDIO、EXCEL-VBA、FileMakerを利用して現場業務の合理化を推進してきました。 しかしそれらシステムは利用環境やツールのバージョンアップなどで上位互換をもたせる為、機能強化とは別の改修費用が都度発生することからこれら費用の削減に新しい開発用ツールを模索していました。
もちろん仕事･業務がスムーズにすすみ、費用の点からも利用技術も簡易にシステム構築ができ、システムの管理にかかる手間が少なく、費用ができるだけかからない推進･管理システム構築がそのポイントでした。

＜導入の経緯＞

2007 年当時、当社ではこうした課題を解決するための方法を模索する中で、EUCも可能で、上位互換があるシステム開発ツール「StiLL」にターゲットを当て、その体験セミナー等を通じて理解･修得、今のシステムの置き換えと新規導入が実現できるかを検証、確信しその開発ツール「StiLL」でスタートする事にしました。
同時にシステムの開発の見積を依頼し、費用等把握、その結果、複数の人員が利用するものは「StiLL」のメーカーでもあるアイエルアイ総合研究所に開発を委託、その他は自社内で作成という方針を立てました。委託開発も短納期（1-3ヶ月）でしかも安価で、1つのシステムの開発予算で2つのシステムが構築できるという費用も予算縮小の中大きなポイントになりました。

■システム概要-2

＜システムの概要＞

・千葉事業所の実務に則したサーバー型システムを構築。
・基幹システムにあるTXTデータを取込むシステム。
・事業所システムから基幹システムに渡すデータ生成連携システム。

◆構築システム
・原価明細システム　・設計用役システム　・工具管理システム　・溶接材料管理システム。

今回はこの事例のうち ・原価明細システム　・設計用役システムを紹介します。

＜システムの特長・成果＞

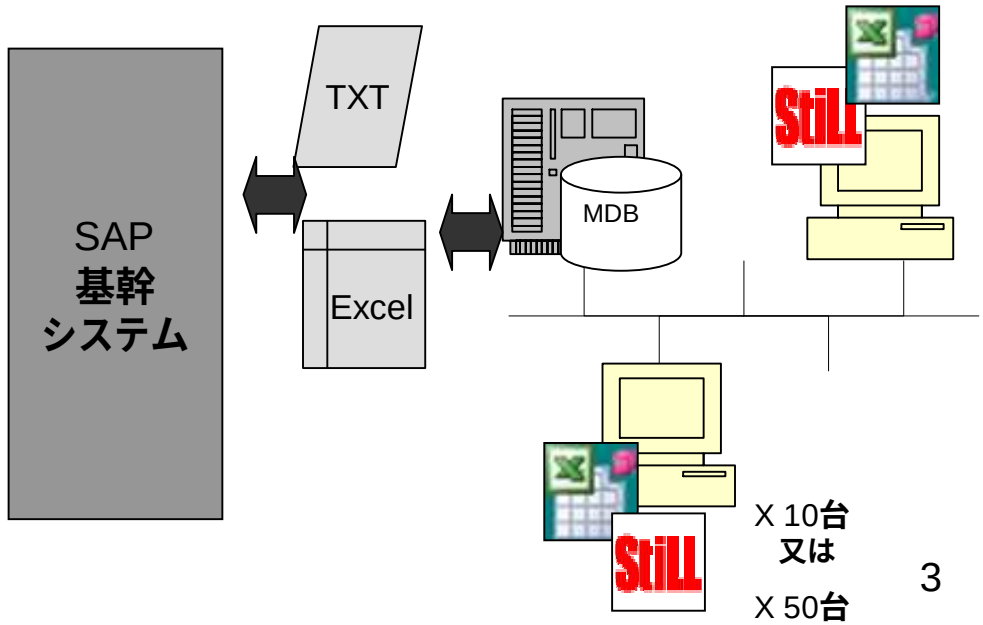
・構造　入力、出力はExcelをフロントに利用、データベースはMDBで構築、C/S型、内部統制に対応。
・仕様　わかりやすく、使いやすい、誰でも簡便に操作が出来る。
・開発方法　プロトタイプシステムで仕様を固め、最終システムに仕上げる開発手法で実施。

★使いやすいとユーザーから評価をうけている。

＜今後の展望＞

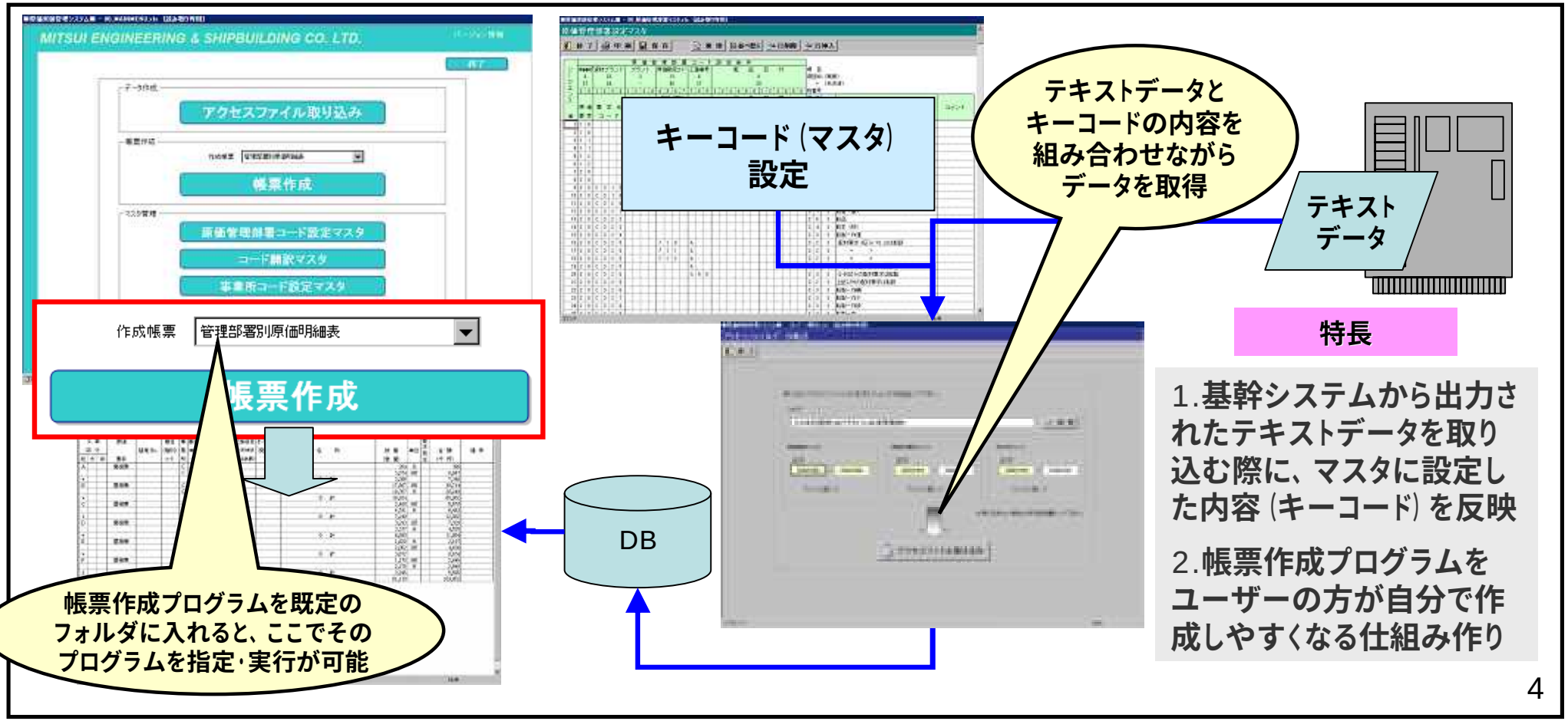
昨年度までに4つのシステムを構築完了しました。

今年度もコスト・操作面で課題のあるシステムを構築予定があるがセクションの担当やマネージャーが評価がよく、基幹連動可能なシステムとして構築継続可能と判断している。



■ユーザー事例①　「原価明細システム」概要

・システム名：「原価明細システム」
・システム概要：依頼部署別原価計算システム。集計・分析等の管理等を行う。
・作成のポイント：基幹システムはキーコードは責任実施区ではないので原価計算が煩雑になって しまうので事業所独自で連動可能なキーコード追加設定をして原価計算をするようにした。



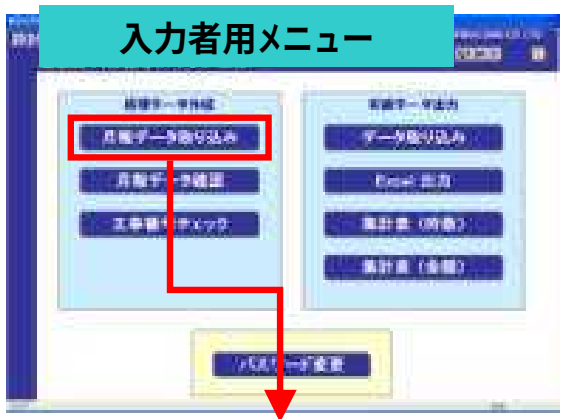
■ユーザー事例①　「設計用役システム」概要

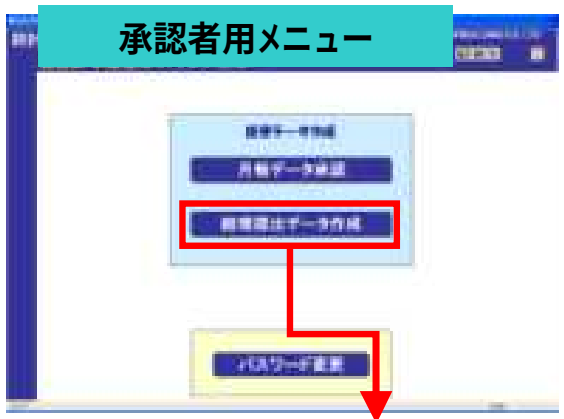
・システム名：「**設計用役システム**」

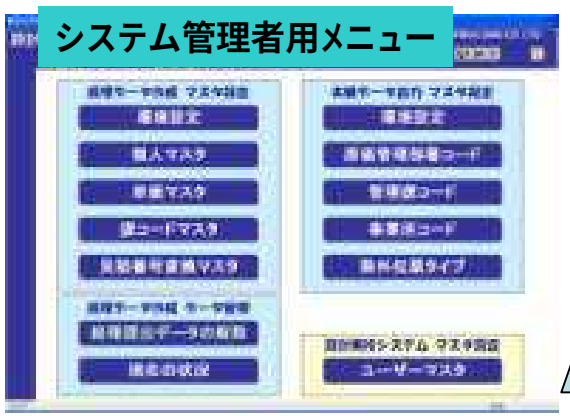
・システム概要：設計用役の実績工数をSAP基幹システムにサマリーしたExcelファイルをデータとして引き渡す。

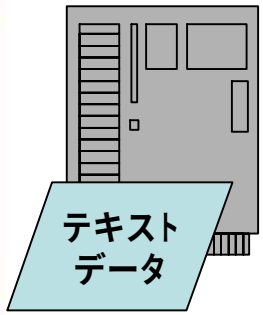
・作成のポイント：①スタンドアローンからC/S型システムへ。②JSOX対応　データの取り扱い権限等対応

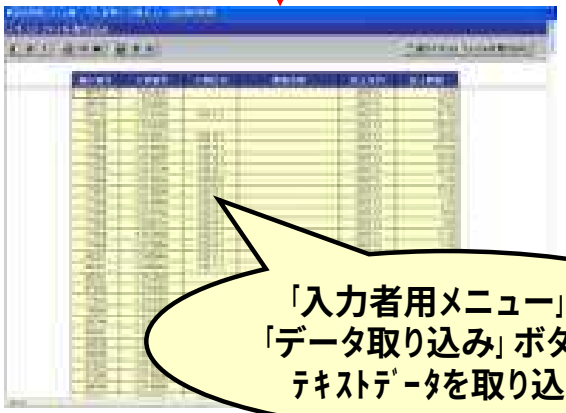
・活用の効用：いままでのシステムで修正時ハンドリングが悪かったものが解消されスムーズになった。



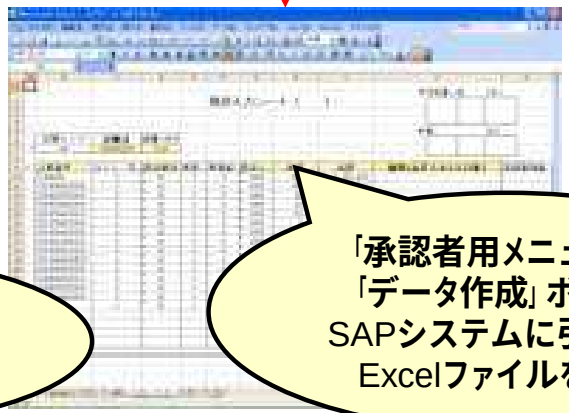








「入力者用メニュー」の
「データ取り込み」ボタンで
ﾃｷｽﾄﾃﾞｰﾀを取り込み



「承認者用メニュー」の
「データ作成」ボタンで
SAPシステムに引き渡す
Excelファイルを作成

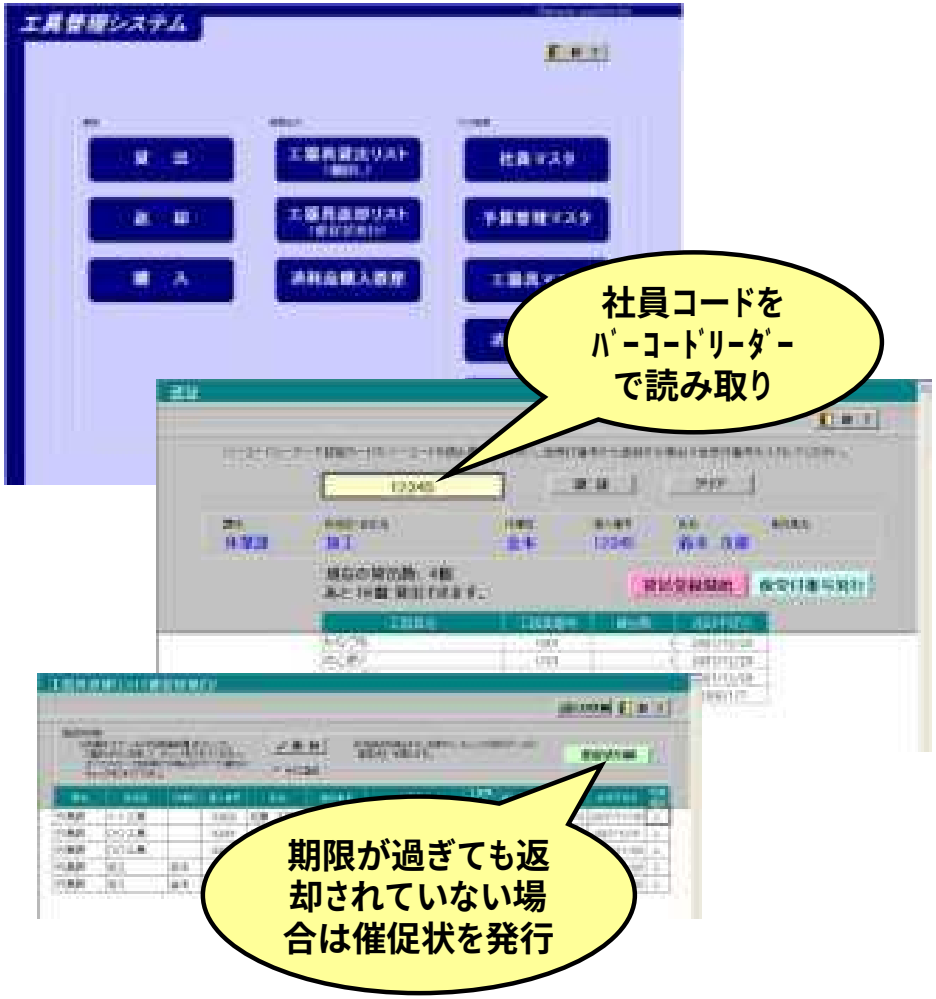
特長

1.システムにログインしたユーザーの権限によりメニュー画面が変化

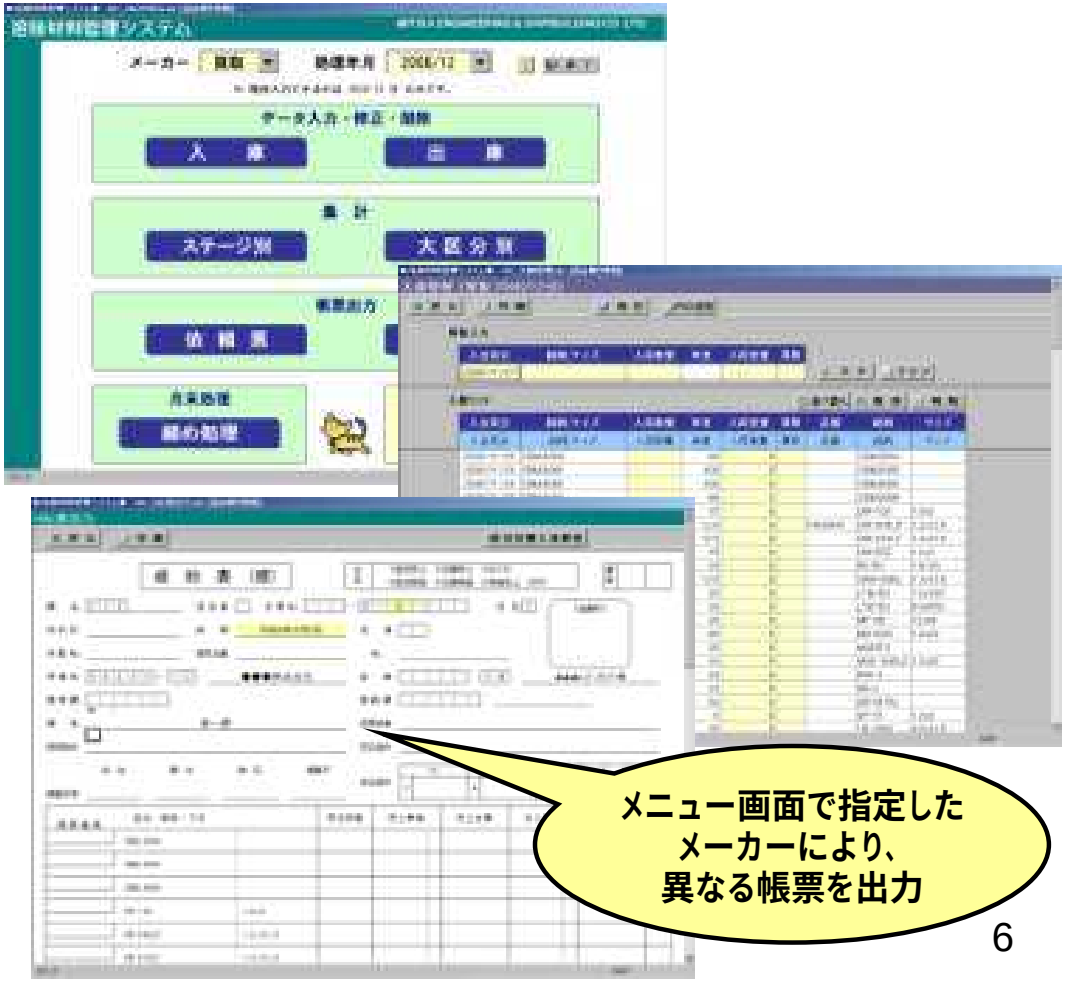
2.承認者により承認されたデータは入力者は変更できない仕組

■事業所業務支援システム　その他事例概要

③工具管理システム
■概要
工具の貸出･返却･購入を管理



④溶接材料管理システム
■概要
入出庫管理
及び取引先対応帳票作成



■作成プロセスとその評価　情報系システム構築標準

【システム企画】
・作成方法、プロセス→現在稼働中のものはそのシステムを委託先に見せて設計。
・新設の場合はExcelで作成したものをベースに打合せ。

【要件定義】
・実務セクション担当者と打合せ。
・プロトタイプで定義。

【開発期間、コスト・技術】
・データはデータベースに 入出力のフロントはExcelで。
・1システム 1-3ヶ月で設計・開発を実施。
・開発担当者はStiLLエキスパート。他社見積りより低予算・短期間での作成の実現。

【検証、テスト稼動】
・プロトタイプにて約1-2ヶ月、納品システムにて半月検収後、実環境で約1ヶ月テスト稼動を行う。

【本稼働】
・テスト運用にて問題が無ければスタート。

【追加、修正】
・委託先に依頼。

【継続性】
・システムが上位互換があるのでWindowsやExcelが変わった時もスムーズに移行。

■ユーザー事例　「設計用役システム」開発ポイント

「StiLL」のシステムポイント

Excelのシステム～Web システムまで

様々なシステム事例：Excel・Access・DBシステムCSV、TXT、Webシステム等

Excelプラットフォーム 新開発手法

①ユーザーの作成したExcelシートを元に
②動く要件定義書によるスパイラル型設計・開発

表現力豊かなシステムデザイン

①豊富なExcelコンテンツ
②様々な業務に合った「StiLL」コマンド

システム稼動後の改善（修正・追加）がスムーズ

①修正・追加依頼可
②データベースのデータ活用自由自在!!

システムポイント実施内容

基幹システムのTXTデータを取り込む形式で連携

固定長テキストデータをこのシステム用のデータベースに取り込みます。

Excel機能を活かした集計システム

お客様 の資料を元にプロトタイプを作成、ユーザーの方に確認して頂きその都度調整を行ないながら仕上げました。

ログインユーザーによりメニュー画面を変更

JSOX法に対応。ログインユーザーによりメニュー画面を変え、各処理においてもユーザー権限が正しいかどうかをチェックするようにしました。

機能追加に対応しやすいプログラム作り。

①テスト稼動で判明した修正・追加依頼に対応。
②データ取り込み・承認・帳票 等の処理ごとにプログラムブックを分けているので、修正箇所が容易に判断でき、修正もスムーズに行えます。

◆ システム事例紹介 II ◆

システム名　「イベント推進管理システム」・・・セミナー・研修 受付→情報提供システム

会社名　株式会社○○○
業種　ソフトウェア開発・販売業
所在地　東京都渋谷区恵比寿

■システム概要

＜導入背景と狙い＞
株式会社○○○では、「StiLL」を全国の皆様にご理解いただくためStiLL体験セミナーを開催しています。
そこでは「StiLL-X」の概要紹介と実際の作成方法の研修・検証を兼ねて実施しています。

一般的にはStiLL体験セミナーはホームページからMailで申込みがあります。
それに対し下記のようにお客様に対応していました。

★本システムはそのプロセスをシステム化し、課題を解決する事例です。

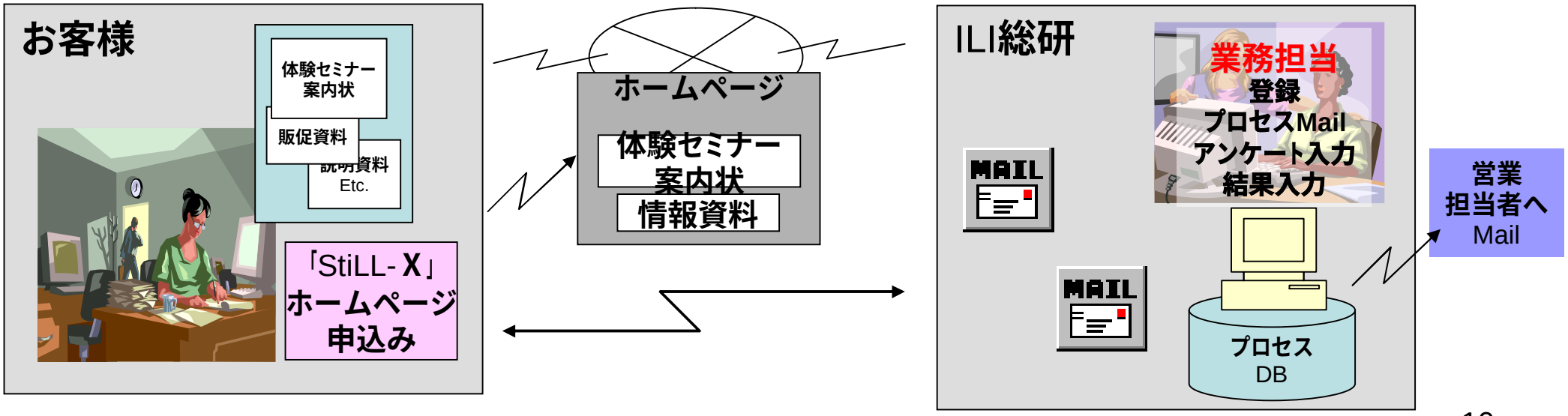
◆プロセス① 受講申し込み受付
② 受講日直前の受講確認
③ 受講のお礼
④ ご質問等のMail
随時　他システムの案内Mail　欠席した方への再勧誘Mail　等

◆課題　人力にて実施していた事もあり
①失念して実施しない事もある。②実施が定着しない。③お客様の当日キャンセルも多々あった。

■システム概要　　イベント推進管理システム

＜導入の経緯＞
当時ちょうど「StiLL」v8.0が完成しました。その時に「StiLL」の新機能--Mail送信機能が完成しました。早速新機能を利用して開発、2007年9月から「イベント推進管理システム」を開発・本稼働・改善をしてきました。

＜システムの概要＞　下記イベント推進プロセスシステム　集計等は別途「StiLL-X」で随時作成
◆プロセス ① 受講申し込み登録・受付　(受講票FAX)
② 受講日直前の受講確認　(当日資料の準備)
③ 受講のお礼　　アンケートの入力　(Excelメールサービスの登録)
④ ご質問等のMail
随時　他システムの案内Mail　欠席した方への再勧誘Mail　等



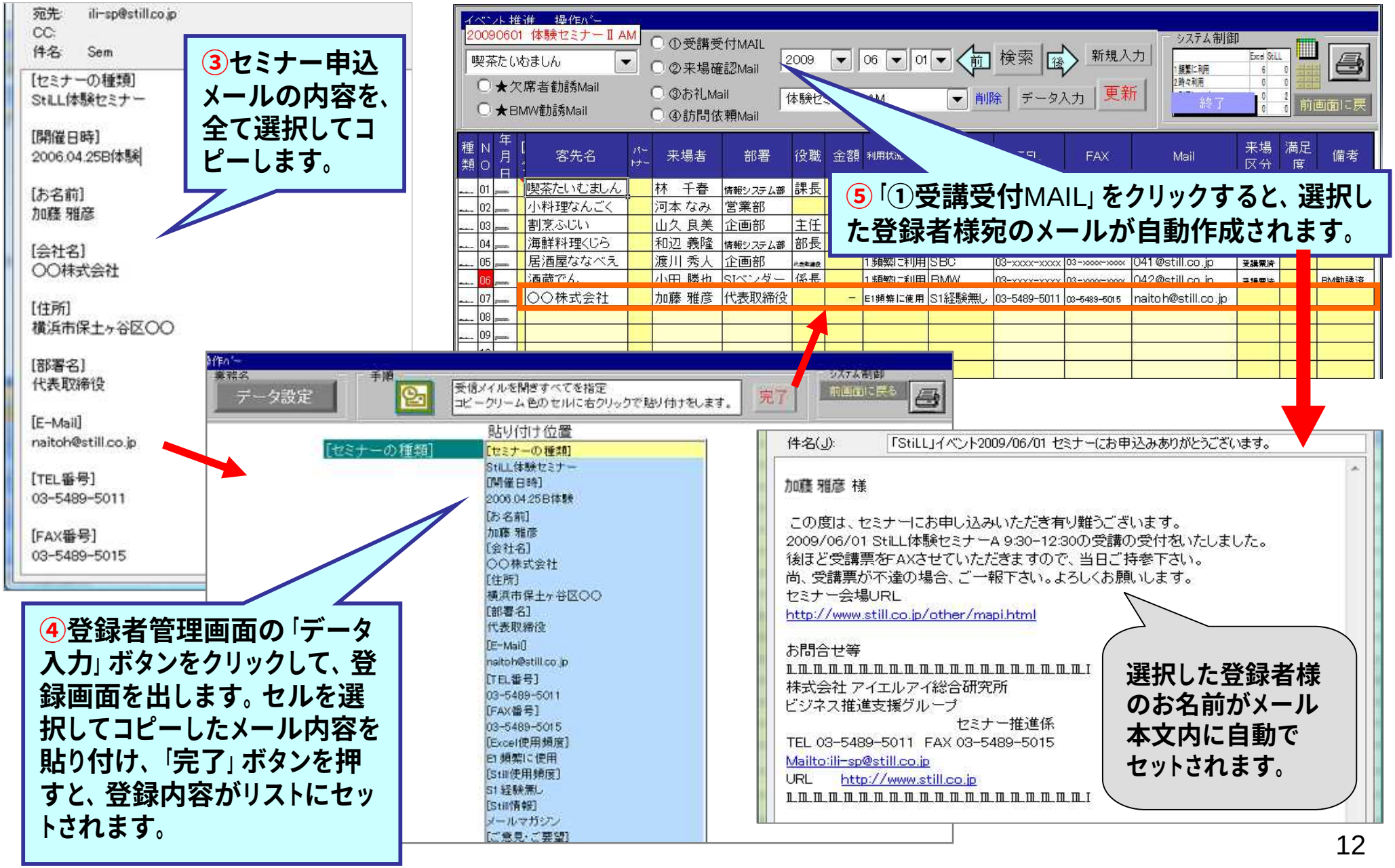
■システム図 1- メニュー画面

このメニューより、イベント日程の設定･登録者様データの管理などを行う画面を開き、メンテナンスします。

①イベントの開催予定や参加予定･実績の人数などの情報が表示されます。

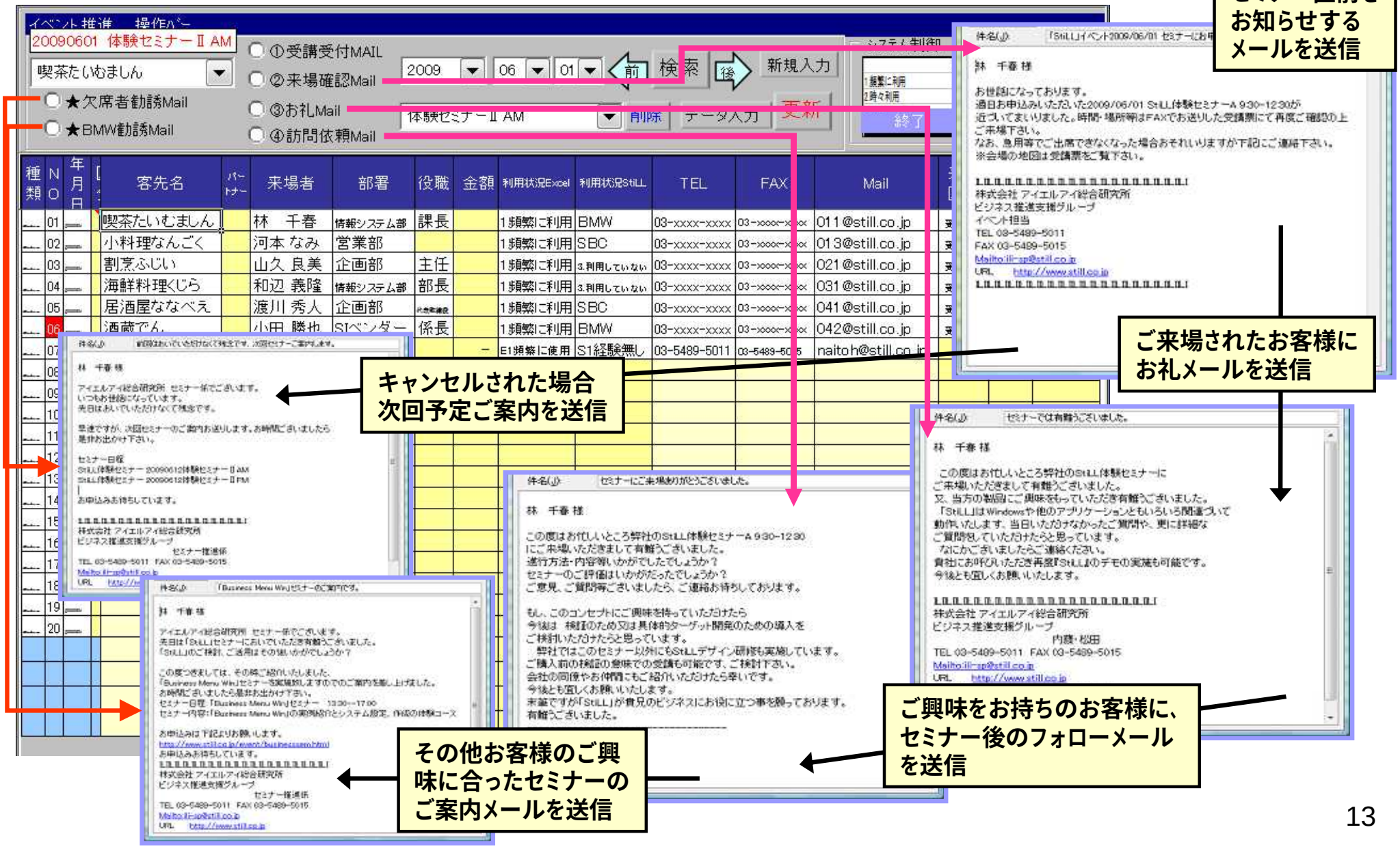
②各ボタンから該当する作業を行う画面を開きます。
今回はセミナー申込者情報を登録し、受付処理を行う画面を開きます。

■システム図 2- 登録者管理画面1　　受講受付までの流れ



■システム図 3- 登録者管理画面2　来場確認から体験版サポートまで

登録から直前案内、来場のお礼まで、各段階に合った内容のメールを作成して申込者にお送りします。



■システム概要

＜システムの特長･成果＞

①特長

- **StiLL体験セミナー等の推進プロセスのシナリオを営業担当でないセミナー担当の人がオペレーション可能になった。**
- **お客様に対する情報提供もスムーズに実施可能になりました。**

②成果

- **当日も含め、面識のないお客様ですが、キャンセルがほとんどなくなった。**
- **セミナー担当の活動が会社の営業活動の一部を担うシステムになり成果がその分加えてもいいと考えられる。**
- **ご来場者のデータベースが同時に作成され様々なシステムに活用可能です。**

③課題

1. **各フェイズのMail文章を実際にあわせるようにメンテナンスする。**
2. **上記メンテナンスシステム構築**
3. **他受注入力等の入力データをデータベースに更新させて自動にしたい。**

＜今後の展望＞

- **実務業務データー元化　全体のビジネスプロセスデザイン**

■作成プロセスとその評価

【システム企画】
・ビジネスプロセスのシナリオ企画・作成
・システムの改善・・・継続

【要件定義】
・Excelと「StiLL」で業務メニュー&表作成
・シート上に条件や注意事項を打合せしながら作成・・・・開発担当に伝達。

【開発期間、コスト・技術】
・5日でプロト作成 → 打合せ仕様固め →さらにプロト作成 →打合せ仕様固めテスト
延べ10日位で開発完了
・企画担当者は業務実務・マネジメント精通、決定権あり。開発担当者はStiLLエキスパート

【検証、テスト稼動】
・テスト環境で約3回分でテスト稼動を行いました。
・当初状況を1ケ月確認しました。

【本稼働】
・そして問題が無かったので本稼働、現在までご利用しています。

【追加、修正】
・操作性の細かい点など2,3点修正より使いやすいインターフェイスを実現しました。
・Mail文章の内容の改善を実施しました。

【継続性】
・毎月数回実施しているので常にシステムはウォッチしています。

■ユーザー事例　「イベント推進管理システム」

「StiLL」のシステムポイント

Excelのシステム～Web システムまで

様々なシステム事例：Excel・Access・DBシステムCSV、TXT、Webシステム等

Excelプラットフォーム 新開発手法
①ユーザーの作成したExcelシートを元に
②動く要件定義書によるスパイラル型設計・開発

表現力豊かなシステムデザイン

①豊富なExcelコンテンツ
②様々な業務に合った「StiLL」コマンド

システム稼動後の改善（修正・追加）がスムーズ
①修正・追加依頼可
②データベースのデータ活用自由自在!!

システムポイント実施内容

StiLL Developersを活用

①Excelのリストをフロントのデータ画面としました。
②データベースはAccessを利用。

Excelと「StiLL」で設定、保存、保護プログラム作成。

①Excelの集客リストをもとに開発しました。
②実務を実施しながら作成しました。

間近に迫っているセミナーのセルの色を変化させています。
①画面の言葉をしっかり表現し、業務を知らない担当でも操作可能にしました。
②セルを選択したときセルの色が変化、プロセス実施した事がわかるように表のことばを更新しました。

機能追加に対応しやすいプログラム作り。

①Mail文章の改善。
②データベースデータは「StiLL-X」でデータダウンロードをし、確認や集計を実施しています。

StiLL「1000件MAIL送信テンプレート」の使い方

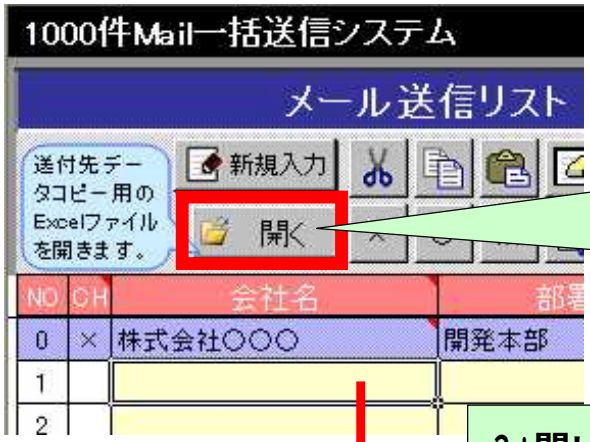
・ご利用環境：**StiLLv9.1 以降のインストールが必要です。**

・ご利用手順：

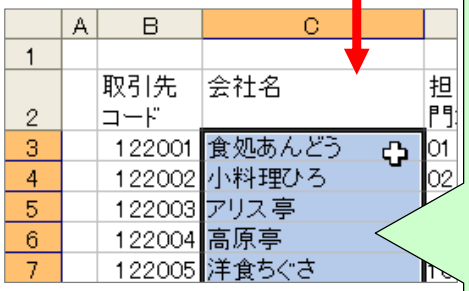
① テンプレートファイルをお使いのPCにダウンロードします。
（ページ下部に記載のURLからDL可能です。保存先フォルダーはどこでも可）

② そのファイルをエクスプローラから開き、送信先リストにメールアドレス等の宛先情報を設定します。
宛先データはリストに直接入力して設定する他、別のExcelファイルに有るデータをコピーして
設定することが可能です。その方法は下記の通りに行います。

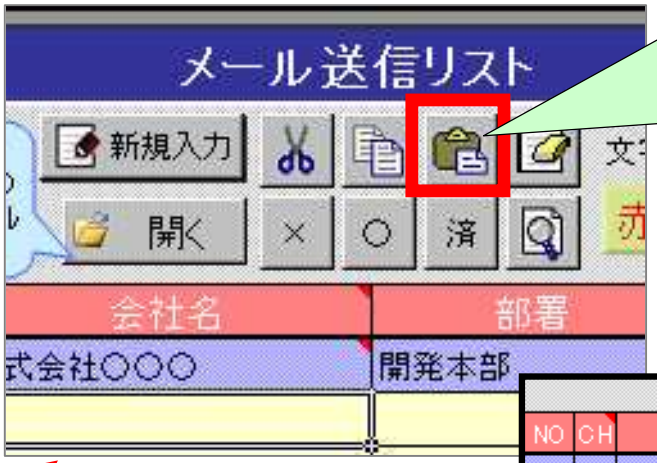
Excelファイルからの宛先情報設定



1：左図のボタンをクリックしてコピー元のファイルを開きます。



2：開いたファイルのデータをコピーし、ファイルを閉じるか、タスクバーから送信テンプレートを選択します・・必要回数実施してください。
（ファイルは新しい別のExcelで開きます）



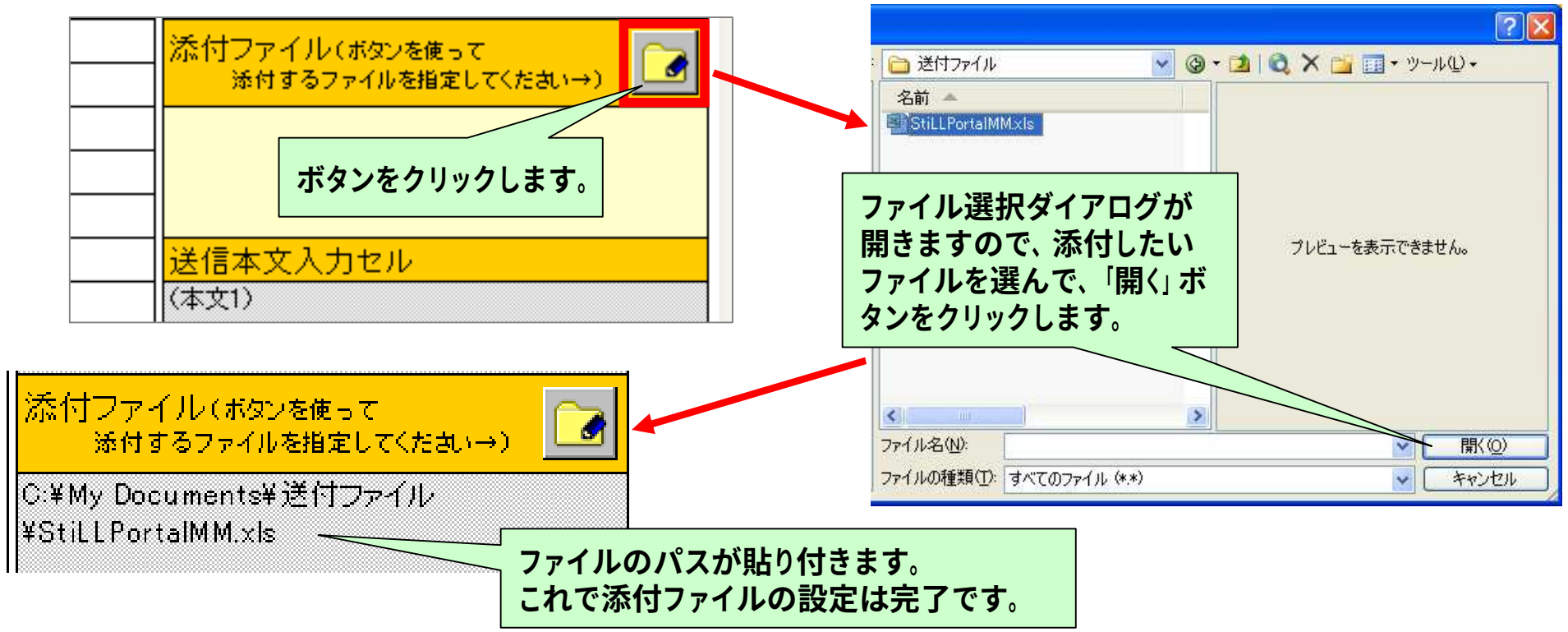
3：送信テンプレートの貼付け先セルを選択した状態で、画面上のコピーボタンをクリックすると、データを貼り付けることができます。

※必須入力項目の「氏名」と「メールアドレス」が未入力の場合、「CH」の欄が赤くなります。

③ 右側の「件名」と「本文」を設定します。「CC」と「BCC」先は任意でご指定ください。

添付ファイルを設定する場合は、下図のボタンを利用して、ファイルを設定してください。

添付ファイルの設定方法



※送信の手順につきましては、テンプレートのヘルプ画面に記載をしてありますので、そちらをご参照ください。

・ダウンロードURL：**https://wn.cococica.com/ili-presentation/1000mail.xls**

※当フォーラムにご参加された方には、後日上記URLが記載されたお礼メールをお送り致します。
※テンプレートをお使いいただける環境が無い方の為に、StiLL体験版をご用意しています。
必要な方はフォーラム終了後にお申し出ください。

SAP と ILI 協業について

協業体制

■SAPジャパン様
- マーケティング、技術検証（主にXcelsius側）、コンテンツ

■アイエルアイ総合研究所
- マーケティング、販売、サポート、技術検証（主にStiLL側）

製品

■ StiLL への Xcelsius バンドル
■ 既存StiLLにBIダッシュボード機能を付加
■ StiLLによってエクセルシートに集約されたデータをもとに、Excel上にてデータ分析と可視化を行う

まもなくニュースリリースが出ます。

SAPとアイエルアイ総研、XcelsiusでOEMアライアンス締結

株式会社アイエルアイ総合研究所（東京都渋谷区、代表：内藤慶一、以下、アイエルアイ総研）とSAPジャパン株式会社（東京都千代田区、代表：ギャレット・イルグ、以下SAP）は、OEM契約を締結しました。

アイエルアイ総研は、2009年6月リリースのプログラム開発ツール「StiLL-X」v1.0 にSAP BusinessObjectsブランドのダッシュボード開発ソフトウエア「Xcelsius」をバンドルします。これにより、「StiLL-X」では、様々なデータソースからのデータ収集・加工・ダッシュボード作成が可能になり、企業内データのビジュアル化とシミュレーションを、ノンコーディングかつリアルタイムに行うことができるようになります。

「StiLL」は、Excelをプラットフォームとしたプログラム開発ツール。Excelにアドオンすることで、Webシステム、DBシステム、Excelベースシステム等の各システムの開発と、システム間のデータ操作を、ノンコーディングで実現します。IT Proや開発者以外のエンドユーザーが、自ら情報システムを開発することを主な目的としたソフトウエアです。

「Xcelsius」は、Microsoft Excelを活用したビジネスインテリジェンス・ダッシュボード開発ソフトウエア。分析データをフラッシュ表示することにより、よりよいユーザーエクスペリエンスを実現します。また、標準コンポーネント（グラフなど）とExcelワークシート関数の組み合わせで、ノンコーディングでフラッシュ開発が可能なため、よりよい開発者エクスペリエンスをも実現しています。

両ソフトウエアの連携により、「StiLL」のデータ収集・加工機能と「Xcelsius」のデータ可視化機能を生かし、データソースとBIプレゼンテーションをシームレスに結ぶシステムを、エンドユーザー自らが開発することが可能になります。シームレス連携により、リアルタイムデータを短時間でダッシュボード化することが可能になります。また、BI用データをスプレッドシートで扱うため、キューブ開発に伴うコスト高と機動性の悪さを避けることができます。

ダッシュボードで社内データを共有することで、経営者や部門責任者にとってのビジネス意思決定支援BIシステムを実現します。

■「StiLL」コンテンツ ご紹介 -1

StiLL オプション プログラム

■STSETODBC： ODBC名ソース名設定プログラム Professional 以上に同梱　無料

■StiLLマネージャー： StiLLのインストール制御　すべてのStiLLに同梱　無料

■StiLLスタート： StiLLアプリとExcelを分離独立制御プログラム　¥15,000/1部門(消費税別途)
※Developers版のみ同梱。

■StiLL Loader： SBC環境設定プログラム　¥300,000/1サーバー(消費税別途)

■StiLL Timer： タイマーによるプログラム起動　¥100,000/1システム

■StiLL Mail： 送信用メールソフト　¥100,000/1システム

StiLLの デモサイト

下記URLよりご覧ください。
http://www.still.co.jp/whatstill.html

StiLL 小冊子 ガイド

下記URLよりダウンロードしてご利用下さい。
https://wn.cococica.com/ili-presentation/SmallBookStiLL02.pdf

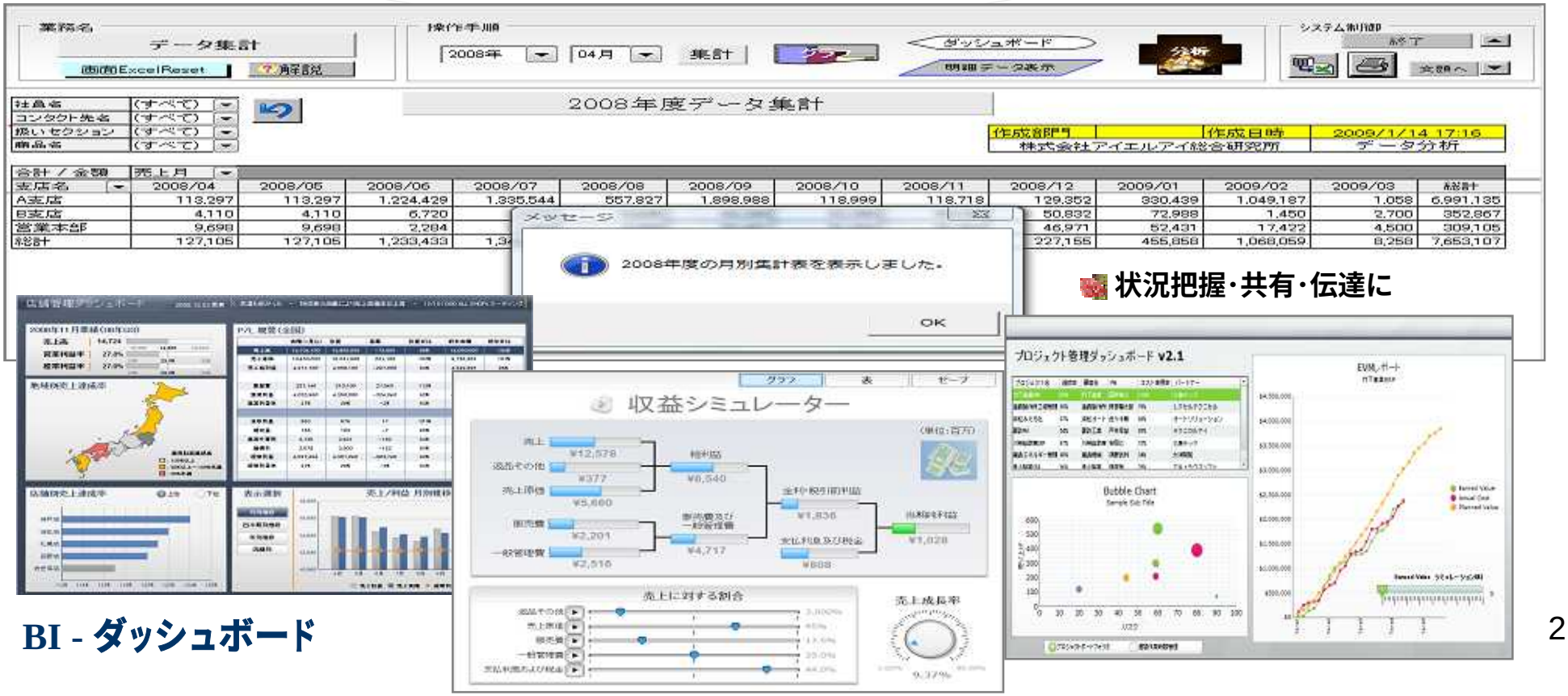
「StiLL」とその連携製品のご紹介　Xcelsiusと連携 したBI ツール

Excelプラットフォーム　エンドユーザーBI 自由自在!!

部門 BI システムツール「StiLL & Xcelsius」

■調査･分析･ソリューション

Excelと「StiLL」のOLAP機能と
「StiLL」の分析、開発系プログラム
言語不要のプログラム機能を利用



■状況把握･共有･伝達に

BI - ダッシュボード

「StiLL - X」オプションプログラム
「StiLL Timer」

概要
①様々なプログラムを
タイマーで起動する
ツールです。

特長
①日時指定だけでなく、毎週何曜日の時間指定や毎日の時間指定といったことが可能です。

②StiLL Timerの設定は、すべてStiLLTimer環境設定ファイル（.INI）からおこないます。

「StiLL Timer」

プログラムをタイマーで自動起動

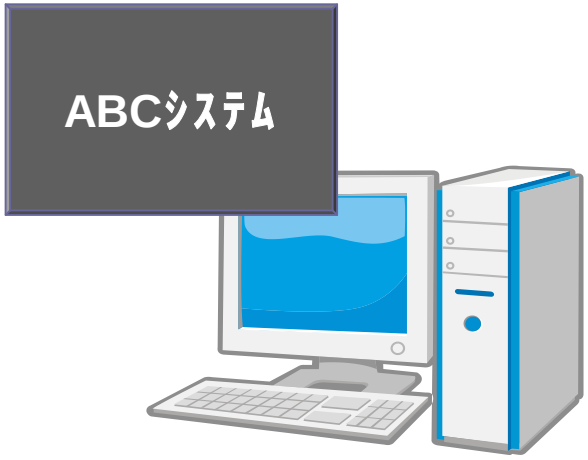
毎日１２：００に起動！！

アプリケーションプログラム 「ABC.exe」

StiLL Timer
環境設定ファイル
設定日時
無制限!!!

```
[StiLLTimer]

Title="Timer1"
Exe1=ABC.exe
Timer1=12:00,毎日
```



■「StiLL」コンテンツ ご紹介 -2

StiLL
保守契約
ライセンスメンバー契約

--- StiLL Professional **ライセンス保守契約 内容** ---
「年間お問合せ」と「バージョンアップ」込みで
¥35,000.-/年 (消費税別途)

※詳しいライセンス価格は下記をご覧下さい。
http://www.still.co.jp/main/still/license.html

事例研究
フォーラム

下記URLよりご確認ください。
http://www.still.co.jp/forum.html

StiLL
デザイン
研修

下記URLよりご確認ください。
http://www.still.co.jp/event/koushuukai.html

■おわりに

- **予定**

  「StiLL-X」　6月キャンペーンスタート

  次回事例研究フォーラムは8月20日
  受注･売上以前のビジネスプロセスのシステム化
  住宅設備機器販売･メンテナンス
  　　ビジネスプロセスデザイン事例

  ILI総研 の業務日報システム

  　　東京国際フォーラム会議棟で実施します。
  　　是非ご参加ください。

- **将来「StiLL-X」事例コンテストを開催を予定しています。**

- **これからのアライアンス推進**

  SIベンダー、SIerとのアライアンス
  ERPとのアライアンス
  基幹パッケージ･ミドルウェアパッケージとの連携

  　データ連携ツール･SBC環境プログラム等　ETC.

  　「StiLL」との上手なお付合いを今後ともよろしくお願い致します。